

平成 23 年度下期 竹の台地域委員会定時総会議事録

- 1.開催日時 平成 23 年 10 月 23 日(日)10 時 05 分～11 時 45 分
- 2.開催場所 竹の台地域福祉センター2 階集会室
- 3.出席者 竹の台地域委員会 算委員長ほか委員 36 名(委任状 4 名)

4.議事概要

午前 10 時 05 分に始まり、質疑応答の後、上程した 5 つの議案全てが承認・可決された。

5.議事内容

水野副委員長・事業部長の司会で始まり、定足数確認では、出席者 36 名、委任状提出者 4 名で、委員定数(全委員数 49 名)の過半数以上となり、総会が成立することが確認された。

開会に当たり、算委員長が委員各位のこれまでの委員会への支援・協力への謝辞と、特に「10 月 9 日(日)に開催した竹の台ふれあいまつりを地域住民の親睦と融和の原点としたい。来年は 10 回目の節目の開催となる。竹の台を育っていく子ども達に「竹の台がふるさと」と思えるような行事に育てたい」、「本日も地域ケア会議など新しい提案をしたい。これを実現するために委員各位の忌憚のない意見・批判をお願いする」と挨拶。

その後、竹の台地域委員会に新しく加わったアルファステイツ竹の台マンション管理組合の臼井理事長が紹介された。

続いて、議長選出では、司会者(水野氏)が、三島隆夫氏(地域委員会施設部長)を推薦し承認され、三島氏が議長席に登壇した。

(議長:三島氏) それでは早速、議事に入ります。第 1 号議案の「平成 23 年度事業の中間報告について」は、今回は新しい説明方法として、地域委員会の半年間の活動の様子をパワーポイントで各部長から報告させていただきます。(パワーポイント資料は、総会添付資料のとおり)

それでは、各事業部長より順次ご説明願います。

(水野事業部長) <パワーポイントに基づき、事業部の活動を報告する>

(絹川広報部長) <古川部長が所要により欠席のため、絹川部長がパワーポイントに基づき、防災・防犯部の活動を報告する>

(森川福祉部長) <パワーポイントに基づき、福祉部の活動を報告する>

(濱環境部長) <パワーポイントに基づき、環境部の活動を報告する>

(柳瀬こども部長) <パワーポイントに基づき、こども部の活動を報告する>

(森川福祉部長) <三島部長が議長のため、森川部長がパワーポイントに基づき、施設部の活動を報告する>

(絹川広報部長) <パワーポイントに基づき、広報活動及びコミュニティ・ビジネスに関する活動を報告する>

(議長) 以上で各事業部から23年度上期の活動報告をしていただきましたが、報告の補足説明を絹川さんからお願いします。

(絹川広報部長) 補足として総会資料に基づき2点申し上げたい。1点は、竹の台民生委員児童委員協議会と竹の台婦人会との関係です。民児協との関係については、年初の総会で委員から「高齢者福祉や子育て支援を進める上でも民児協の存在が不可欠ではないか」との指摘を受け、その後、竹の台地域委員会としても民児協に委員会への参加を書面で呼びかけつつ、双方のリーダー同士の意見交換を申し出ましたが、現在においても「なしのつづて」状態になっています。こうした中で、地域の中や西区役所の中ですら、この委員会に対する誤解や曲解が生まれる状態となり、当事者同士での解決が困難と予想されることから近々に西区長に対し仲介のお願いに赴く予定にしています。ご了解いただきたい。

2点目は、地域委員会における雑費、交際費の取り扱いです。雑費、交際費の支出については西区役所より「一切まかりならん」との指導がありますが、社外人との打合せ等の喫茶代、委員本人や関係者の死去等によるご香料の支出など委員会活動の遂行上必要不可欠のものまで無報酬の委員会役員に全て負わせるのは無理があります。このため必要不可欠と思われる雑費、交際費に支出については、委員会として会計規則を作成し支出基準を明確にし、次回総会での承認を得たいと考えています。こうしたグレーンゾーンの明確化こそ地域団体に求められていることと思います。当然、個人マターの支出と組織としての支出は峻別しなければならないことは言うまでもありません。西区役所には、委員会が新たに作成した会計基準を提示し指導を受けたいと考えています。この2点について、ご了解いただきたい。

(議長) それでは、さきほどの23年度上期の活動報告と補足説明について質疑応答に入りたいと思います。質問のある方は挙手の上発言して下さい。

(委員) 提案とは別だが、事業報告にもあった7月に開催した「竹の台円卓会議」に自治会代表として出席したが、あれは全くフリートークになっていなかった。役所が中期計画を説明し、地域委員会も自らの活動のPRのみに腐心したため肝心の地域課題に関する話ができなかった。次回からは改めて欲しい。

(絹川広報部長) 事務局としても反省しています。その7月の円卓会議では自治会マターの案件が数多く出されたので、改めて自治会に関係の深いごみ問題や植栽・緑化問題を取り上げる円卓会議の開催を開催したい。当初は、9月に予定していましたが、あいにく台風のため順延となり、今回は11月26日(日)に開催したい。次回の円卓会議では、事前に自治会等から提出していただいた質問表も取りまとめているので、自治会の皆さんがフリーに話し合える場となるように努力します。

(委員) 了解。

(議長) 他に質問やご異議はございませんか。特に発言がないようですので、23年度上期の活動報告についてご承認いただける場合は、拍手をお願いします。

<全員拍手>

(議長) 第1号議案の「平成23年度事業の中間報告について」は、拍手多数で承認されたと認めます。

それでは、続きまして第2号議案の「平成23年度会計予算の補正」について提案していただきます。会計の山本さんお願いします。

(山本会計) <議案書に基づき提案>

提案では、年初の総会時には未定であった、ふれまち協提案型助成が認められたため、年初予算を増額・補正したこと。兵庫県の「コミュニティ・ビジネス離陸応援事業助成」が8月に承認されたため、この部分を本体会計とは切り離し特別会計すること。上期の執行状況は順調に進んでいること等を説明した。

(議長) さきほどの提案について、ご質問のある方は挙手の上発言して下さい。

特段の質疑応答なし

(議長) 他に質問やご異議がないように思いますので、「23年度会計予算の補正」に関してご承認いただける場合は、拍手をお願いします。

<全員拍手>

(議長) 第2号議案の「平成23年度会計予算の補正について」は、拍手多数で承認されたと認めます。

続きまして第3号議案の「竹の台まちづくり5カ年計画と神戸市長とのパートナーシップ協定の取り扱いについて」提案していただきます。これは絹川さんをお願いします。

(絹川広報部長) <議案書に基づき提案>

提案では、「竹の台まちづくり5カ年計画」と神戸市長とのパートナーシップ協定の取り扱いについて、竹の台の将来のまちの姿をさぐる中期計画の作成に力点を置き、神戸市の支援を受けながら、ワークショップなどを開催し多様な意見を計画に反映する。パートナーシップ協定については、この計画の実現に神戸市の支援がどうしても必要な場合、締結に向けた動きをする。協定については、5カ年計画策定後、改めて総会に諮りたい等を説明した。

(議長) さきほどの提案について、ご質問のある方は挙手の上発言して下さい

特段の質疑応答なし

(議長) 他に質問やご異議がないように思いますので、「竹の台まちづくり5カ年計画と神戸市長とのパートナーシップ協定の取り扱い」に関してご承認いただける場合は、拍手をお願いします。

<全員拍手>

(議長) 第3号議案の「竹の台まちづくり5カ年計画と神戸市長とのパートナーシップ協定の取り扱いについて」は、拍手多数で承認されたと認めます。

続きまして第4号議案の「コミュニティ・ビジネスの展開について」提案していただきます。これも絹川さんお願いします。

(絹川広報部長) <議案書に基づき提案>

提案では、兵庫県の「コミュニティ・ビジネス離陸応援事業」の認定が降りたので、正

にテークオフできる資金が確保できた。今後、地域の高齢化により地域団体の力が弱まってくると思われ、それを補完するものとして、今年度はコミュニティ・ビジネス展開の初年度にしたいと説明した。

(議長) さきほどの提案について、ご質問のある方は挙手の上発言して下さい

特段の質疑応答なし

(議長) 他に質問やご異議がないように思いますので、「コミュニティ・ビジネスの展開について」ご承認いただける場合は、拍手をお願いします。

<全員拍手>

(議長) 第4号議案の「コミュニティ・ビジネスの展開について」は、拍手多数で承認されたと認めます。

続きまして第5号議案の「竹の台地域ケア会議(仮称)の設置について」提案していただきます。これも絹川さんをお願いします。

(絹川広報部長) <議案書に基づき提案>

提案では、ケア会議では、狭義の高齢者福祉や介護だけでなく、災害時要援護者支援、や高齢者にまつわる犯罪防止など生活全般について調査・検討したい。年内に立ち上げたいと説明した。

(議長) さきほどの提案について、ご質問のある方は挙手の上発言して下さい

特段の質疑応答なし

(議長) 他に質問やご異議がないように思いますので、「コミュニティ・ビジネスの展開について」ご承認いただける場合は、拍手をお願いします。

<全員拍手>

(議長) 第5号議案の「竹の台地域ケア会議(仮称)の設置について」は、拍手多数で承認されたと認めます。

(議長) ありがとうございます。これにて、本日上程させていただいた5つの議案全てが承認されました。迅速なご審議に感謝申し上げます。

それでは最後に、これは議案ではございませんが、23年度下期の竹の台の主要行事予定について森川さんから説明していただきます。

(森川氏が資料により説明)

(議長) 先ほどの森川さんからの説明で何か質問はありませんか。

(委員) 今年度初めて自治会の役員になったが、前任からの引継ぎで「敬老の日の行事がある」と聞いていたが資料には散見されない。「敬老の日の行事」はどうなっているのかを確認したい。ただ、これは開催を求めているのではない。

(絹川広報部長) 一昨年までは、小学校体育館で開催し、去年は、たけパークで「敬老週間」として1週間、行事を開催した。ただ、この行事だけで年間の地域福祉センターの利用料の半分程度(25万円程度)を費消してしまい、本来の福祉センター利用者の便益向上がおろそかになる懸念がありました。また、「敬老」は1日とか1週間だけ行うものでなく、やはり年間を通じて行うものという認識から、さきほど説明した、たけのパークでの「ふれあい喫茶」や「ふれあい給食会」の充実を図りました。ですので、これからは、高齢者が気軽に立ち寄り仲間作りができる、たけのパークでの各種事業を充実していまいたいと考え

ています。

(委員) 了解。

(議長) 他に質問はありませんか。

(委員) 竹の台総合新聞は楽しみに読ませていただいているが、私どもの役員の中から、「新聞の紙質が上等すぎるのではないか」との指摘を受けた。これについてはどうか。

(森川副委員長) 上質紙ではあるが、最も汎用性に富んだ紙を使用しており、コストの低減になっている。薄すぎず、厚すぎないベストの紙を使用している。印刷業者から各紙質の単価表を取り寄せるので、現在使っている紙の単価が妥当と思われる資料を提示したい。次の総会で説明したい。

(委員) 了解。

(議長) 他に質問等はございませんか。

特段の質問なし

他に質問等がないようですので、これにて議案、報告事項とも全てが承認されましたと認めます。皆様の迅速なご審議に感謝申し上げ、議長を降りさせていただきます。

(司会:水野氏) 議長の三島さん、ありがとうございました。

これにて、竹の台地域委員会の23年度下期総会も無事終了となりました。

最後に、算委員長からお礼のあいさつを申し上げます。

(算委員長)

本日の総会は、中間期の報告でありましたが、色々のご指摘・アドバイスをいただき本当にありがとうございました。ご指摘の部分は改めて役員会に諮り早急に対応させていただきます。今後とも皆様のご協力・ご支援を心より願います。

<全員拍手>

(司会) 長時間のご審議本当にありがとうございました。それではこれで閉会とします。

以上

平成23年10月23日

(議事録署名)

西区竹の台3丁目10-13

山崎 安之 印(省略)

西区竹の台5丁目11-3

算 進 印(省略)